

よりそって

『愛の手で みんなで支える 住みよい地域』

小諸市民生・児童委員協議会 広報部会

つながる私とあなた

～第7回～ 地区会では

【川辺地区】

一期目はコロナ禍の影響もあり活動があまり出来ず、私も二期目を迎え、地区会のメンバーも替わり、残ったメンバーもベテランの方なので、ひと安心でした。

地区会では、担当地域の活動内容を毎回発表するのですが、自分の時にはドキドキ、議題は決まっています。それでも横道にそれることもしばしばです。

地区の方が困った時には真っ先に相談に乗り、みなさんの協力も得ながら解決していきます。それでも手に負えないときは、社協の方にも協力をお願いします。

理事会にもつなげていただき解決していく、そんな頼もしい人たちに囲まれて、毎回楽しい地区会に参加しています。

大杭区民生・児童委員 清水絹代

西部地区・三岡地区 研修旅行報告

10月7日、8日に西部地区9名、三岡地区9名、同行職員3名で新潟県の廃校利用施設3か所の視察研修に行きました。

雲洞庵見学、南魚沼・魚野の里でおいしい昼食を摂り「鉢&田島征三・絵本と木の実の美術館」視察では「流木のオブジェ」などを見学し、旧校舎の前で記念撮影をしました。

夕方、秋山郷「かたくりの宿」へ、ここも

旧小学校を使用しているとのこと。夕食の時間は、皆さんと和気あいあいと話が盛り上がりました。移住してこられたという支那人さんより、山間地ゆえのご苦労や楽しさについてお話をいただきました。

翌日は「和島ツールモンド」を視察、管理者の方から説明をしていただきました。社会福祉法人長岡三古老人福祉会が経営する施設で、就労継続支援A型事業としてレストランとパン工房があり、障がいをもつ方が、一般企業へ就職するために必要な知識の習得

や、能力向上のために必要な訓練を行う事業所で、実際に働いている現場を見ることができました。また、心を病んで離職された方の再就職の支援もされているとのことでした。

今回は地区ごとの研修ということで、小型バス1台で、大勢では行きにくい山間地の施設をじっくりと見学できて良かったと思いました。

耳取区民生・児童委員 丸山寿一



こころみ学園とココ・ワイナリー

10月10日東部・北大井地区合同で足利市の「こころみ学園」へ研修に行ってきました。

学園は創立55周年を迎える、知的な障がいを持つ人達のための支援施設です。現在140名の利用者が、ワイン作り・椎茸栽培・入所者100名分の洗濯・食事作り・お掃除を行い、園生はみなプロとして職員と共に働いています。

学園の象徴、平均斜度38度の葡萄畑での草刈り等農作業、日の出と共にカラス追いの缶を叩く人、摘み取った葡萄を選別し潰す作業、それぞれのできる仕事を黙々とこなしています。正に「寡黙な農夫」と呼ばれる所以です。葡萄本来の力を信じ、その力を引き出し、世界に通じるワインを造る。これは園生への思いにも通じる鍵だと感じました。

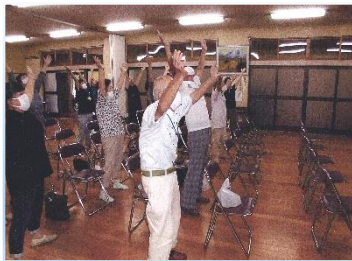
急斜面の開墾から今日まで、携わってきた人々と、そこに流れる思想に敬意の念を抱きました。 北大井地区会長 石川京子



急傾斜地の葡萄畑



こころみ学園



話を聞かせてもらいます。こうして集まることが元気の源なのだと感心しています。

和田区民生・児童委員
小須田かほり

友愛訪問では、私も仕事を持っている身なので、平日4時過ぎにお訪ねすると、決まって道端の木陰で、何人かの方々が座ってお話をされています。そこに加わらせていただいて、毎回楽しいお

ります。 他には、春・秋の2回のお弁当を、秋にはシクラメンの小鉢をお配りしています。「待っていたのよ。」と喜んでくださるので、こちらもうれしい気持ちになります。

健康達人区らぶ4回、いきいき健康教室6回を一年に開催しています。毎回20名以上、多い時で30名以上の参加があります。みなさんの明るい笑い声と元気に、いつも力をいただいています。



和田区での地域支援活動

小諸市社会福祉協議会主催 サマーキッズフェスタ2024に参加して

市内の小学生を対象に、夏休みの思い出となるようなワクワクドキドキなイベントが開催され、私たち民生・児童委員もボランティアとしての参加です。2日間に渡り、スイカ割りや夏祭りなどの夏らしい企画や勉強会、また市内企業と連携しての職業体験でした。



爺っさま、婆っさま（失礼）が2日間もフルタイムであの宇宙人のような子どもたちと過ごせるか心配されましたが（ん？私だけ）そこは孫たちと遊びなれているシニア、何の心配もなし！子供たちからたくさんの元気とパワーをもらって帰路につきました。その夜は、夢の中でスイカ割の夢を見ながらトイレにも行かずぐっすり眠れました。

市町区民生・児童委員 清水伸一